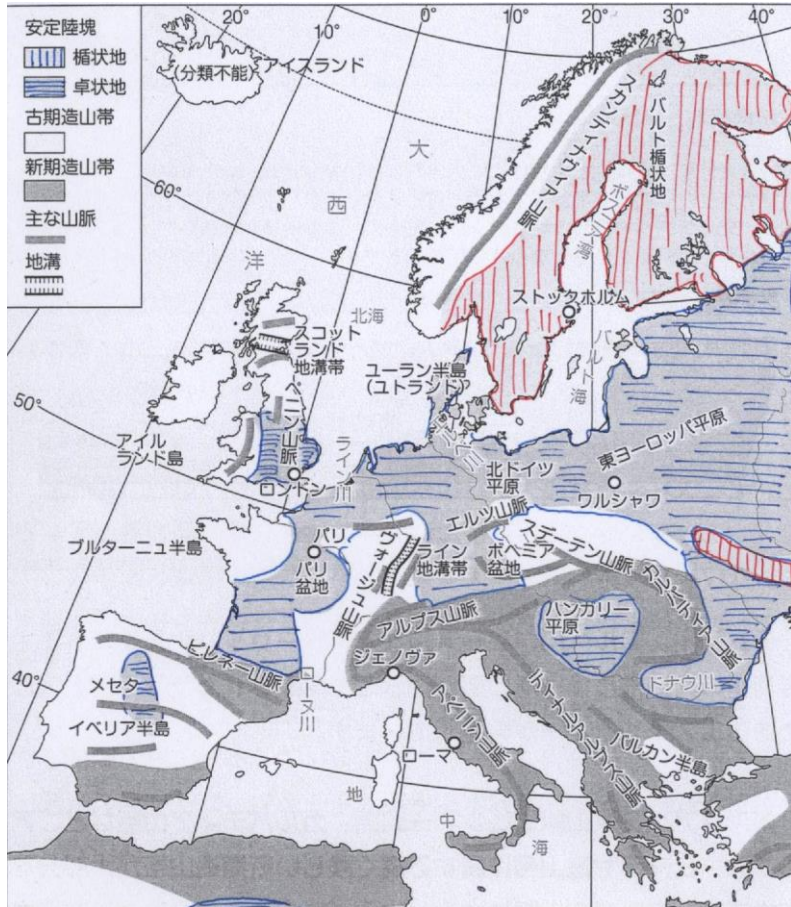


地誌 第20回「ヨーロッパ地誌①～ヨーロッパの自然環境～」

○今回のポイント

(1)ヨーロッパの地形 ※標高 200m未満の低地の割合が5割以上。



a.北部

- ・バルト海周辺は安定陸塊の [① \_\_\_\_\_]、スカンディナヴィア山脈は低くなだらかな [② \_\_\_\_\_]。
- ・ [③ \_\_\_\_\_] (最終氷期にヨーロッパ北部のほぼ全域が大陸氷河に覆われていたため)
  - ノルウェー沿岸部には氷河によって浸食されたU字谷に海水が浸入して [④ \_\_\_\_\_]。
  - スウェーデンやフィンランドには氷河侵食により形成された凹地に水がたまって [⑤ \_\_\_\_\_]
- ・アイスランド… [⑥ \_\_\_\_\_] 上の火山

b.中部

- ・古期造山帯(イギリスの [⑦ \_\_\_\_\_] など)と構造平野([⑧ \_\_\_\_\_])
- ・モレーン([⑨ \_\_\_\_\_]) ※大陸氷河が運搬してきた砂礫が堆積して形成された丘状地形
- ・ケスタ([⑩ \_\_\_\_\_])と [⑪ \_\_\_\_\_]

※硬層と軟層が交互に積み重なった地域においては、硬層では侵食が進まず丘陵となり、軟層では侵食が早く進んで低地となるため、急斜面と緩斜面が連続した地形ができる。



- ・ [⑫ \_\_\_\_\_] (テムズ川、エルベ川、セーヌ川等の河口部)

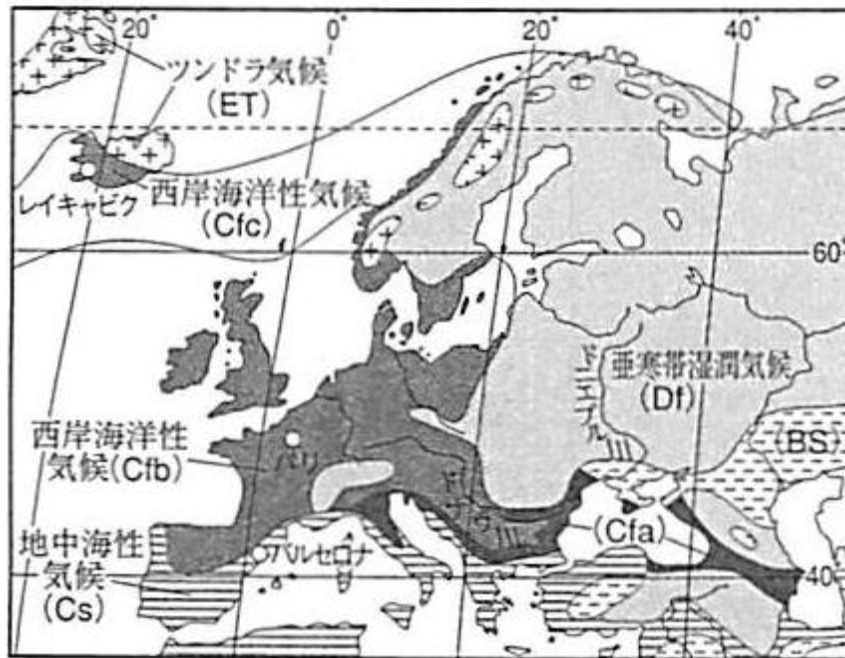
※河口部が沈水してできたラッパ状の入り江

c.南部

- ・新期造山帯；アルプス・ヒマラヤ造山帯(アルプス山脈、ピレネー山脈、[13] )
- ・[14] ] (アルプス山脈)
  - [15] ](ホルン)…氷河の浸食によって周囲が削られて尖った山頂
  - [16] ]…削られた山頂付近の斜面に形成された凹地
- ・リアス式海岸([17] ) ※V字谷が沈水して形成される
- ・カルスト地形([18] ) ※石灰岩が雨水によって溶食された地形
  - ヨーロッパの地中海沿岸には石灰岩が広く分布するため、石灰岩が風化して生成された間帯土壌の [19] ]が分布している。(間帯土壌はインドのデカン高原のレグールで綿花、ブラジルでコーヒーも覚える)

(2)ヨーロッパの気候

ユーラシア大陸西岸に位置するヨーロッパは海洋から吹く偏西風と沖合を流れる暖流の北大西洋海流の影響で、高緯度に位置しているにも関わらず、緯度のわりに冬でも温暖な気候で、気温の年較差も小さい。



a.中部…[20] ](西岸海洋性気候)

ヨーロッパ中部には標高 200m未滿の低地が広がるため、偏西風を遮る山脈がないので、比較的内地部まで海洋の影響が及ぶ。

b.北部…Cfb(Cfc)→[21] ]→Df(冷帯湿潤気候)

風上側の [22] ]沿岸は高緯度まで Cfb(Cfc)が分布するが、風下側の [23] ]や[24] ]の大部分は、偏西風や暖流の影響が及びにくいので、冬の気温は低くなり、Dfとなる。Cfcとは月平均気温 10℃以上の月が年3か月以下(4か月以上ならば Cfb)。

c.東部…内地部に位置するため、偏西風と暖流の効果はなく、[25] ]。年較差は大きい。

d.地中海沿岸…Cs(地中海性気候)。

夏に [26] ](亜熱帯高圧帯)の影響を受けて少雨となる。植生は [27] ]やコルクガシ。地中海沿岸では建築材料として利用できる樹木が少ないため、[28] ]の住居が多くなっており、日光を防ぐため白塗りにしている。